

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	音楽Ⅰ(選択)			学年・コース	高校1年 全クラス
教科	芸術科	単位数	2単位		
使用教科書	高校生の音楽1(教育芸術社)				
副教材等	MY SONG(教育芸術社), 高校生のための音楽研究ノート(教育芸術社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

様々な音楽活動をする上で必要な基礎的な音楽の能力を高め、創意工夫を生かした音楽表現が出来るとともに文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりなどを踏まえて、音楽について考える力を身に付けることを目標とします。

日本や世界の音楽に触れることで、様々な価値観をもつ音楽に対しても、広い視点からそれらの音楽の良さを感じ取り、音楽の多様性について理解を深めることを目標とします。

音楽の様々な活動を通して完成を豊かに育み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化に親しむことを目標とします。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	・発声法 ・校歌	ブレス・発声の確認 暗譜・発声の確認	10月	・合唱 ・鑑賞(古典派) ・楽典 音名・リズム	練習状況の観察 定期考査で理解度を確認 音名・リズムの小テスト
5月	・楽典 音名と調性 ・鑑賞(古代ギリシャ) ・実技考査(独唱)	音名や調性の小テスト 定期考査で理解度を確認 発声法・歌唱力を実技考査で確認	11月	・合唱発表 ・独唱「カーロ・ジョ・ベン」 ・鑑賞(ロマン派)	各クラスの審査 イタリア語の確認 定期考査で理解度を確認
6月	・鑑賞(中世・ルネサンス) ・楽典 音符・譜表・拍子	定期考査で理解度を確認 音符・譜表・拍子の小テスト	12月	・楽典(反復記号・音符と休符)	単元テストで確認
7月	・合唱 ・鑑賞(バロック) ・1学期のまとめ	活動への取り組みを観察 定期考査で理解度を確認 第1学期期末考査	1月	・2学期のまとめ ・楽典(音程・音階と調) ・鑑賞(現代) ・独唱 ジョルダニ「カーロ・ジョ・ベン」	第2学期期末考査 単元テストで確認 定期考査で理解度を確認 実技考査
8月			2月	・楽典(まとめ)	
9月	・器楽 カリンバ ・カリンバ発表	奏法の学習及び練習状況の観察 アレンジを通して音楽性を観察 演奏技術と音楽性を観察	3月	・1年間のまとめ	小テスト及び学年末考査で確認 第3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

①【知識・技能】

- ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などに理解を深めている
- ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している

②【思考・判断・表現】

- ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽評価をしながら良さや美しさを味わって聴いたりしている

③【主体的に学習に取り組む態度】

- ・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている

上記の3観点のA. B. Cの組み合わせから5段階評定を算出します。

定期考査は各学期末に筆記試験を実施。内容は「西洋音楽史」「楽典」「楽曲」について。

実技考査は5月、10月、2月に実施。各学期の評価として総合的に判断します。

また、1年間の評価は、上記の内容から観点別に総合的に判断されます。

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	美術 I (選択)				
教 科	芸術科	単位数	2単位	学年・コース	高校1年 全クラス
使用教科書	高校生の美術 1 (日本文教出版)				
副教材等	ターナーアクリルガッシュ、消しゴム印ハガキ版、マルイチ彫刻刀3本組、きりえ、バードカービングほおじろ、サンフラワーペーパーM画用紙、トレーシングペーパー、ポストカード丸万画用紙、三菱鉛筆ユニ2B				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
 ②造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ることができるようにする。
 ③主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	・「オリエンテーション～世界中の美術～」 ・「写真グリッド模写一人物」	制作過程 リアクションペーパー 授業態度	10月	・「きりえでつくろう彫刻の写真」 ・「絶対に手に取ってもらうぞ！パッケージデザイン」	制作過程 リアクションペーパー 授業態度
5月	・「写真グリッド模写一人物」	作品 制作過程 リアクションペーパー 授業態度	11月	・「絶対に手に取ってもらうぞ！パッケージデザイン」	制作過程 リアクションペーパー 授業態度
6月	・「消しゴムはんこ～夏からの手紙～」	制作過程 リアクションペーパー 授業態度	12月	・「絶対に手に取ってもらうぞ！パッケージデザイン」 第2学期期末考査	作品 第2学期期末考査 制作過程 リアクションペーパー 授業態度
7月	・「消しゴムはんこ～夏からの手紙～」 第1学期期末考査	作品 第1学期期末考査 制作過程 リアクションペーパー 授業態度	1月	・「バードカービング～実は毒がある鳥！？～」	制作過程 リアクションペーパー 授業態度
8月	・夏休み課題 「夏と美術」	夏休み課題	2月	・「バードカービング～実は毒がある鳥！？～」	制作過程 リアクションペーパー 授業態度
9月	・「きりえでつくろう彫刻の写真」	制作過程 リアクションペーパー 授業態度	3月	・「バードカービング～実は毒がある鳥！？～」 第3学期期末考査	作品 第3学期期末考査 制作過程 リアクションペーパー 授業態度

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [期末考査、作品や製作過程、リアクションペーパーをもとに評価。]
 ② 思考・判断・表現 [期末考査、作品や製作過程、リアクションペーパーをもとに評価。]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [出席や授業態度や提出物をもとに評価。]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	書道Ⅰ（選択）				
教 科	芸術科	単位数	2単位	学年・コース	高校1年 全クラス
使用教科書	書道Ⅰ（教育出版）				
副教材等	改定 基本ペン習字（教育図書株式会社）				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 書の実現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。(「知識及び技能」の習得)
- ② 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができるようにする。(「思考力、判断力、表現力等」の育成)
- ③ 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をとおりて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。(「学びに向かう力、人間性等」の涵養)

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	書の芸術性 書の実を求めて 用具・用材・姿勢・執筆	プリント 臨書作品	10月	祭姪稿 三筆・三跡 漢字の書の制作	プリント 臨書作品 創作作品
5月	用具・用材・姿勢・執筆 楷書の学習 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑	プリント 臨書作品	11月	篆書の学習 泰山刻石 隸書の学習 曹全碑・居延漢簡 草書の学習 書譜 漢字の書の制作	プリント 臨書作品
6月	顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭義下碑	プリント 臨書作品	12月	ペン習字 行書の基本 草書の基本 仮名の基本	基本ペン習字 第2学期期末考査
7月	ペン習字 楷書の基本 楷書の実用文字	基本ペン習字	1月	仮名の学習 平仮名・変体仮名 連綿・蓬萊切 高野切第三種 三色紙	プリント 臨書作品 創作作品
8月		第1学期期末考査	2月	漢字仮名交じりの書 意図に応じた表現 自分の表現を目指して 名筆に学ぶ 感動や思いを表現しよう	臨書作品 創作作品
9月	行書の学習 楷書と行書の比較 行書の特徴 蘭亭序 風信帖・久隔帖	プリント 臨書作品	3月	ペン習字 応用編	基本ペン習字 第3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [学習活動への取り組み・提出物の内容・考査試験]
- ② 思考・判断・表現 [提出物の状況(臨書作品・創作作品・プリント・基本ペン習字)]
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 [定期考査・提出物の内容]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します